

他の言語
創造物(万物)

(形能)

第十一課 宇宙空間を探查する

(心)

前課では、宇宙空間への探查旅行を約束しました。そこで本課では、あなたが論理的な手順を如何に的確に受け止められるか調べましょう。

かつて宇宙空間には何もないと考えられていました。肉眼では何も見えなかつたからです。しかし、近年の機械装置の発達に伴い、宇宙空間は活動している事、又、不可視の構成分子が充滿し、その構成分子からフォームが作り出されている事が分かっていきます。この事を意識は我々のマインドに伝えようとしてきました。不可視な現象は目で見る事が出来ない為にマインドは受け入れようとしませんでした。そして、機械装置を用い現象を認識して初めて意識の正しさが立証されたのです。天体・惑星は皆、宇宙空間に存在する構成分子から生れます。その構成分子は感覚器官である視覚では見えなくても意識で見える事が

素

フリーリング

認識する事か

種

出来ます。

約 1760 km

物

16
1150

16
16
1760

~~367.1
20
158~~

肉眼は窓ガラスの様なもので、それを通して意識が対象を見る事は前課で述べました。そこで引き続き、意識を通して見る方法について話を進めます。物質の構成分子は大小様々で、種々のガス層に砂嵐が混合したような凄まじいスピードで宇宙空間を移動しています。微粒子が結合する時には電磁気と呼ばれる引力によって更に他の微粒子を集めます。惑星が形成される時にはこの引力が持続され、質量が増す事で中央に向かい巨大な圧力が加わり、後に惑星となる球の中心部が燃焼し始め、球は熱を帯びて来ます。この熱が構成分子を徐々に固体に変え、惑星を構成する微粒子の中に眠っていた植物の種子の誕生を促します。そして、植物・昆虫類など我々が知る全ての物を惑星が生み出します。我々の住む地球も宇宙空間から生まれ、およそ時速1100マイル(1769.9km)のスピードで宇宙空間を移動しています。従って、他の惑星も全て同様だと考えるのは理に適っています。当然、惑星の大きさは様々で鉱物類が他の惑星よりも多量に存在する惑星もあるでしょう。ちょうど地球においても地域差があるのと同じです。しかし、惑星は皆、宇宙空間に存在する共通の物質によって構成されているのです。こうした活動の過程が分かかりますか。そして、惑星がどの様に創造され、今も創造されているか分かりますか。また、宇宙空間の物質

即ち構成分子が樹木の様に惑星上で見る事の出来る万物を創造する能力を持つ事が分かりますか。意識が伝えるこうした物事をあなたのセンス・マインドが感受出来るのであれば、あなたは進歩している事になります。

前述の通り、宇宙空間、即ち意識には始めも終わりもなく、天体・他のフォーム、即ち太陽・彗星等の地球と同様の固体も無数に存在します。地球上で見る事が出来るものを地球が生み出したのであれば、他の惑星も地球と同じです。意識はこうした印象を我々に伝えてきます。我々の地球が年月を経た様に、他の惑星も皆、年月に応じて状況に違いがあるかもしれません。地球上の文明でさえ栄枯盛衰を繰返し三十億ほどの人々が存在した時期もあるのです。また、地球において人間のマインドの発達の程度に地域差がある様に、惑星によっても違いがあるでしょう。しかし、地理的な形態は地球上のそれと大差はありません。

他の惑星へ旅行に出る前に、白日夢(day dreaming)と呼ばれる状態を取り上げてみましょう。この状

白日夢

中に光を反射する為です。その光景は息を呑むほど美しく、まるで神の目前にいてはいないかと感じるほど素晴らしい光景です。ピルの多くは白く、乳白色を帯びた青色の空を反射して輝き、雪に覆われた山々も同様に輝いています。巨大な水河地帯もあり空の色を鏡のように強烈に反射しています。この色の周波数が身体を貫くように思われて、今までの自分とは違う存在になったかの様に感じます。あなたは創造主の住まい、即ち探し求めていた天国にいる様に意識によって気づき始めます。初めにこのよりの印象を意識はマインドに伝えてきます。全てがあまりに美しいので、現実の風景かどうかマインドは疑問を持ちますが、確かに堅い地面を歩いている事が分ります。

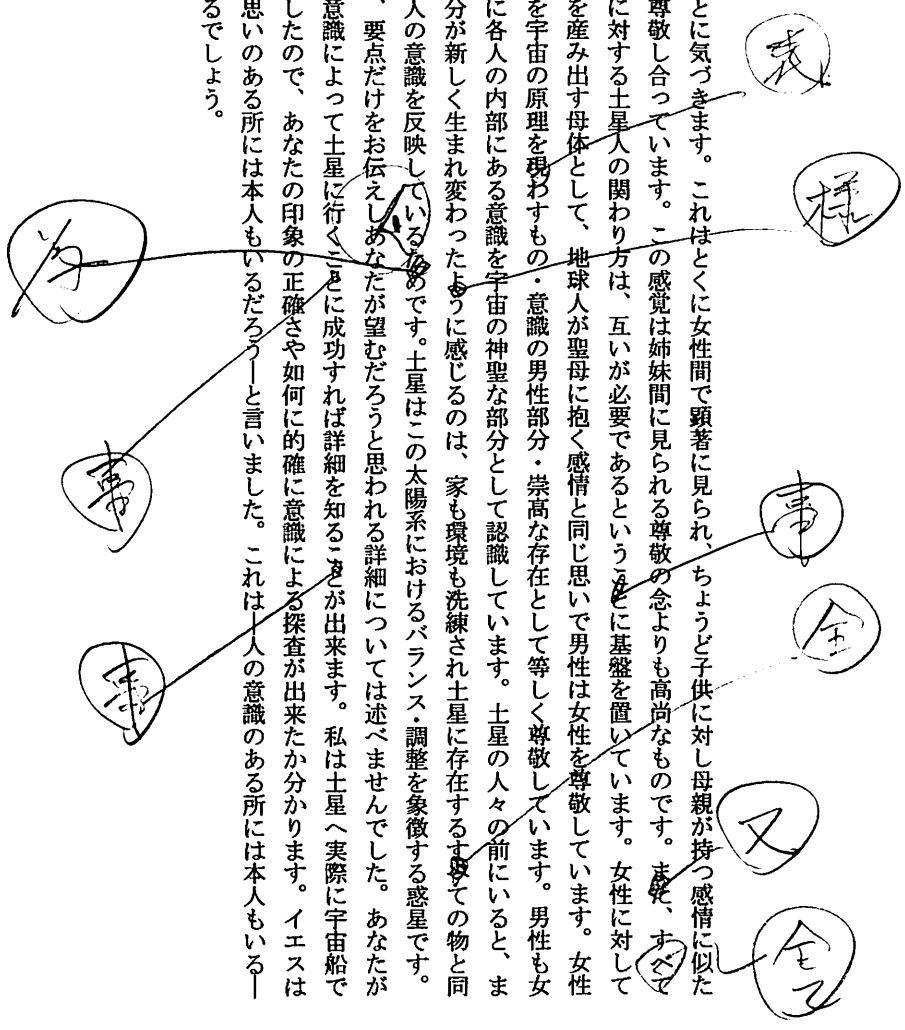
また、人々と交流すると奇妙な感じがします。誰もがまるで自分の一部の様になります。それは、土星の人々が我々の想念を見透かして何を考えているかを知っている様に感じるからです。そして、自分がここにいるのはふさわしくないのではないか・自分達をどう思うだろうかと動揺するかも知れませんが、これはマインドの習慣的な反応によるものです。土星の人々が我々を他人としてではなく兄弟姉妹として受け入れていると分かると、間もなく気楽に感じるようになります。土星の人々には嫉妬・羨望・差別等の感情はまのたく見られません。そして、彼らの家庭に招かれると、あらゆるものを平等に分け合っ

念

様

様

いることに気づきます。これはとくに女性間で顕著に見られ、ちょうど子供に対し母親が持つ感情に似た
 思いで尊敬し合っています。この感覚は姉妹間に見られる尊敬の念よりも高尚なものです。また、すべて
 のものに対する土星人の関わり方は、互いが必要であるということに基盤を置いています。女性に対して
 は人間を産み出す母体として、地球人が聖母に抱く感情と同じ思いで男性は女性を尊敬しています。女性
 も男性を宇宙の原理を現わすもの・意識の男性部分・崇高な存在として等しく尊敬しています。男性も女
 性も共に各人の内部にある意識を宇宙の神聖な部分として認識しています。土星の人々の前にいると、ま
 るで自分が新しく生まれ変わったように感じるのは、家も環境も洗練され土星に存在するすべての物と同
 様に住人の意識を反映しているからです。土星はこの太陽系におけるバランス・調整を象徴する惑星です。
 以上、要点だけをお伝えしあなたが望むだろうと思われる詳細については述べませんでした。あなたが
 自分の意識によって土星に行くことに成功すれば詳細を知ることが出来ます。私は土星へ実際に宇宙船で
 行きましたので、あなたの印象の正確さや如何に的確に意識による探査が出来たか分かります。イエスは
 一人の思いのある所には本人もいるだろうと言いました。これは一人の意識のある所には本人もいる
 と言えるでしょう。



さて、同じ方法で金星を観察しますと、金星は土星よりも小さな惑星で、通常は雲に覆われていますので、違いが見られません。雲の切れ間から太陽光線が差し込む場合もあり、空気は湿潤ですが重苦しさはありません。金星も形態は他の惑星とよく似て、氷雪地帯もあり、気候の変化に富んでいます。地理的環境からも、金星人は地球人や他の惑星人と大変良く似ています。又、金星の人々は物事に對し広い視野で興味を持ち、環境は土星に酷似しています。人間の諸問題を担当する多数の協力者からなる最高府が一つ設置されています。人々が互いに尊敬感を持つ点も土星と酷似しています。

惑星は各々に人間性の一つの面を象徴していますが、金星は万物を一体化させる宇宙的な愛を象徴する惑星です。農業及び必要な物資の製造は全て、使用目的でのみ生産する事を基本としています。又、個人の持つ才能は全て発達させ表現する為のチャンスが与えられています。表現されるものは皆、大変芸術的で、鑑賞すると精神的に高められます。これは金星人が表現するもの全てに愛を表現する為です。以上、基本的な情報を提示しましたので、あなたが意識によって金星を観察した事をこれに補うと良いでしょう。

それでは次に、火星に行く事にしますが、私はまだ実際に火星に行った事はありません。しかし、意識

を通してみると、粗雑な印象を受け、商業と工業が盛んな点は地球にとてもよく似ています。農業は二次的で居住地域には水が不足し、主に乾地農法が行なわれています。水を供給する為極冠や氷結地帯の氷を溶かして水路で運んでいます。塩水が豊富で、最近地球上でも地域によっては行なわれている様に真水に変換されています。塩水の運河があり、内陸部の都市へ船が運行されていますが、その都市でも塩水は真水に変換され利用されています。昔は塩水一に対し真水二の割合で混合が試みられました。しかし、真水の量が不十分であり、この混合水は農業には適しませんでした。火星においても人口の急増がみられません。来年には火星旅行が約束されていますので、実際に行つて意識から与えられた印象を私がいかに的確に感受出来たか分かります。

前述の通り、この様に意識が伝える事をマインドが信頼するならば、意識により宇宙を旅する事が出来ます。意識による旅行の方法を知らない人でも、無意識に何度も宇宙を旅している場合があります。これが睡眠中に起こると、目覚めた時にマインドに鮮やかな印象を与える夢として現れる場合があります。特にマインドが夢として思い出すには不可能なほど奇妙な場所の夢を見る事もあります。

12
501
12

出

変

意識とはフォームのいかんに関わらず、万物がその中に生きている生命の海であるという事を忘れてはなりません。意識の外には生命は存在しません。マインドが意識の海の中で生き、生命そのものである意識の海に従わなくてはならないと気づく事によって、生命の海における活動の様々な段階にある、又、表現されるフォームの様々なタイプに関する新しい知識をマインドは感受し始めます。これは、海中を伝わって来る異変について海中の魚が感知出来るほど敏感であるのに似ています。宇宙のあらゆる場から印象を受け得る能力をマインドが持つと気づくならば、生命の満ちた意識の海の中でこれと同じ敏感さを人間も持つ事ができます。この状態を理解し応用すると、距離に関係なく望む場所の何処へでも行く事が出来ます。真実のあなたとは意識である事を忘れてはいけません。マインドと身体はあなたの利用する道具です。

1930年代の始め頃に教室での講義中に頻繁に起きた事ですが、生徒が病気で授業を欠席したにもかかわらず、次の週にその生徒がクラスに出席した際、自分は欠席したが授業は受けたと言いました。つまり、私は欠席者のそばで講義をしていたのです。勿論、教室での講義を止めたわけではありません。私はマ

インドと身体を通じて講義をする為にクラスの生徒の前にいました。同時に私の意識は病気の生徒のそばにもいたのです。この状態を例えると、一つのマイクフォンに装備された二つのスピーカーを通して放送する様なものです。意識によって身体の中に存在するマインドへ伝えられた内容を、生徒達にも伝えていました。そして、一つの場所では身体として存在し、別の場所では想念体として存在していました。

ここで想念体について説明しましょう。人間とは意識を通じて想念を表現したものです。ちょうど影がフォームの存在を現わしているのと同じです。講義中の教室においては身体として、また病気の生徒のそばでは私のフォームの影として現われていたのです。想念体はどんなに遠い場所へ行く事も感受する事も出来ませんが、身体は出来ません。

この現象は教室の外でも頻繁に起こりました。パサデナでの講義中に病気の友人を助けて欲しいと依頼されました。そこで、いつものように講義をしながら同時に病人のそばに行こうとしました。本人の居所や名前を知る必要はありませんでした。意識によって私は同時に二ヶ所にいたからです。そのうち援助を願った友人に会った時には、友人はそばに快方に向かい、短時間で病床から起き現在回復中であると言つて大変喜んでいました。病気に限らず他のトラブルから人々を救出した経験もあります。この現象は睡眠

直前に

この操

後

心

心

中ではなく、覚醒時に仕事をしている最中に起こりました。従って、意識による旅行によって体験した事です。

しかし、私がUFO問題に関心を持つ様になると、これらの体験はなくなりました。これはイエスが言う様に、何れかをおろそかにせずに二人の主人に仕える事は出来ないからです。しかし、再びこうして教え始めましたので本来の奉仕する立場に戻ります。

新飯

こうした経験を述べたのは、人間の内奥の能力は本人の意識によって引き出されるのであり、神秘主義とは無関係である事をはつきりする為です。むしろそれは宇宙の法則を理解する事—人間の半身である意識の部分を理解する事なのです。人間の99%は意識の持つ能力、即ち意識を知覚する事に気づかず、生命の半身であるマインドの部分だけで生きています。意識によってあなたは自由に宇宙のどこへでも行く事ができます。しかし、マインドに依存すれば一ヶ所に拘束されたままです。

私は講義を行なっている教室に身体的には拘束されていましたが、意識によって必要とされた場所に行きました。以上の法則は、マインドにおいて真実である様に意識においても真実です。意識は生命の永続す

LB
XL

印象

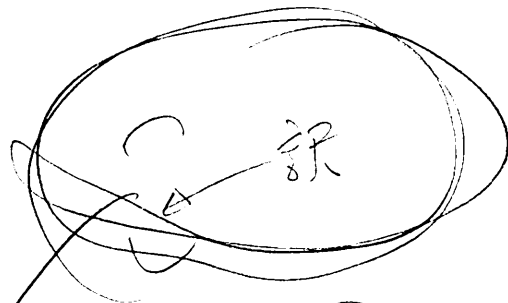
る部分であり、一方マインドは生命の変化する部分です。マインドは学びの途上にある為、常に変化して
います。一方、意識は既に全てを知っているのです。

心

ところで、トランス状態とは何を意味するのでしょうか。一般に容認されているこの考え方は、前述の通り、霊的な指導者が導くと信じる事によって事実が誤って伝えられたものです。あなたの進歩の途上においてこの様な印象や映像を感受しても動揺しないで下さい。あなたの意識が意識の他の部分を見る時、このフィーリングを感じる場合があるのです。全てを包容する意識をあなたのマインドはすぐには受け入れないという事を忘れてはいけません。従って、マインドが意識との関係において確実に進歩するまでは、印象は分割された状態あるいは異なる状態で伝えられます。

内径一インチ(2・54cm)のホースは内径一インチ分の水を通しますが、一度ノズルから飛び出すと水は何百もの様々な大きさの形の水滴に分離します。そして、水滴はそれぞれ我々の尺度で特定され、大小に分類されます。しかし、水滴は植物の上に落ちて水分を補わせ、生命を与えて水と接触するものに物質としての形を保たせません。

心は



水滴の本質は総体的に見ると他の全ての水滴と一体です。様々な水滴に分離した後も、ホースの中で一体化している状態と本質的に違いはありません。そして、宇宙の意識の流れはこのホースの中の水と同じなのです。

意識が存在しなければ生きる事の出来ない低次元現象に奉仕し、役立つ為に常に意識は分割されています。言い換えれば、宇宙の父母は創造したものを決して見捨てる事はないのです。マインドがこのプロセスを理解しない場合は、神秘主義者が行なってきた様に未知の現象を様々に分類しようとしてます。そこで、マインドが理解出来ない物事をいかに分類するか示しましょう。それには変貌の山におけるイエスの体験を例に挙げる事ができます。

その時、イエスのマインドは意識によってトランス状態にありました。つまりイエスは意識の声に耳を傾け観察する為に、マインドの意思を意識の意思に完全に従わせていました。すると、イエスの容貌は多くの働々のフォームを表現しながら変化したのです。それはイエスのマインドと意識がかつて実際に表現していたものでした。イエスは自分に何が起きているのか十分気づいていました。弟子たちはイエスを見守っていましたが、顔の表情が何度も変わるのを観察し、モーセやその他の人々が現れたとイエスに伝え

別々の



山(たどる)

来

江

海
海の橋

来

ました。それを聞いたイエスは弟子たちに「私の生命はその多くの人々の生命である」と答えました。言い換えれば、イエスは生命のこれら全ての段階を経て生きてきたのであり、意識がマインドのスクリーン上にその状態を現したのです。故に、弟子達が観察している間にイエスの内なる生命の記憶が現在の段階にもたらされたのです。

こうしたイエスの体験は、あなたが自分の誕生した日まで記憶を蘇らせる場合に、マインドがトランス状態になり、あなたの現在に至るまでの成長過程をたどる事に関心を集中するのと同じです。あなたの意識は成長の様々な段階と体験してきた物事をマインドに伝え、それに伴ってあなたの顔の表情に変化が生じるでしょう。これがそのときのイエスに起こった事であり、弟子達が観察している間に実現したのでした。これこそ唯一の真のトランス状態であり、ここにおいてはマインドと意識が一体となって働く宇宙の原理が存在します。

一般に言われているトランス状態とは、皆、幻影・希望に基づく想念・自己催眠などに過ぎません。霊的指導者や高度に進歩した霊からの印象をマインドが受ける場合は特にそうです。こうした霊的指導者、いわゆる指導霊からのフィーリングを感受したときは用心しなくてはなりません。

忠告

あなたが信頼出来るものは唯一、意識—即ちあなたの半身です。だからこそ聖書には—私の前に偽りの神を持つな—と書いてあるのです。人間であれ他のいかなる生命体であれ、万物は多くの経験と変化を経験してきました。我々が生命を永遠のものとして受け入れるのであれば、未来同様過去においてもまさしく同様に、我々は永遠です。故に、イエスは自分がこの世界のものなら闘うが私はこの世界の者ではないと述べているのです。

イエスが他の場所からこの世界に来たとすると、我々も皆どこか他の場所からここへ来たと考える事は不合理ではありません。イエスはこれを簡潔に—父の家には多くの住まいがある—と述べています。しかし、結果である人間のマインドが記録を持つ意識に従わない限り、これを理解する事は出来ません。意識に従ってこそ意識からの印象が伝えられるのです。

これは、映像による印象の感受や意識による旅行だけではなくいわゆるテレパシー現象も含まれます。従って、映像の形で意識から伝えられる印象を受け取るだけでなく、想念からの印象やそれが表現するものについてもあなたは感受する事が出来ます。

我々が常に高尚な気質を持っていたわけではないという事を忘れてはいけません。従って、感受する場面や印象によっては現在の我々の理解力では認め難く不快に感じる場合もあります。しかし、それも我々の発達の一部・生命の一部です。その人達は皆、あなた自身ですから、自分の歴史の一部として受け入れて拒絶しない様にするべきです。もっと長生き出来るなら違う事が出来るのに——と我々は何度も言ってきたではありませんか。我々は過去の行為に改良を加える事によって崇高な方向へと成長するのです。



人間とは意識を並べて相念を表現したものです。

我々は過去の行為に改良を加える事によって
より高尚な方向へと成長するのです。

第十二課 要約 絶え間ない進歩のもたらすもの

第十一課では、意識からもたらされる印象は過去のあなたの一部であり、如何なるものでも除外してはならないと述べました。

これは極めて重要です。何故なら、生命とはジグソーパズルの様なもので、絵を完成させる為には如何なるパーツも欠かす事が出来ないからです。あるパーツを好まないからと言って他のパーツと入れ替えると、絵は完成しないでしょう。人間は好き嫌いによる生活を続けてきた為、こうした傾向は現在もありますが、生命の真実の絵を得る為にはこれを克服しなくてはなりません。何故なら、好まないからと言って他の何かと交換するのなら、神秘を作り出す事になるからです。そして、我々は真実・事実を求めているのです。

善・悪・無関心などは理解力の不足による法則の誤用に過ぎない事を忘れてはいけません。これらも全て宇宙の王国の中で起きているのです。決してその外で起きているわけではありません。例えばあなたが家の中で過ちを犯した子供であるとしても、過ちを通して物事の正しい方法を学ぶ事が出来るのです。生命を理解するには生命のあらゆる面に直面しなくてはなりません。

本講座の始めに述べた様に、あなたには物事を理解する為に分析する権利はありますが、批判・非難する権利はありません。批判は分析によく似ている為、批判や裁きと受け取られる場合もあります。しかし、あなたの動機が過ちを防いでくれます。あなたの動機が理解の為の目的を持つ高尚なものであれば、他人が何を言っても気にする必要はありません。そして、分析の際に過ちを犯した場合はそれを認めるのです。これがあなたの目的が高尚である証となります。

社会的生活を長期にわたって続けて来た為、習慣が人間のマインドを支配する様になりました。そして、この支配力は世代毎に強まってまいりました。従って、前述の通り、習慣から脱する事は簡単な事ではありません。しかし、我々はこの課題に熱心に取り組み、古い習慣を新しい知識に変えなくてはなりません。これがあなたの半身である意識を見つけ理解する方法です。

第一課では、生命を分析し因(意識・四次元)に気づくことについて述べました。更に因(意識・四次元)と結果(三次元)を同時に気づく事の重要性についても述べました。

あなたは心を観察し、又は意識から伝えられる印象によってあなたの感知力を増加させる様に努力を続けなさい。

第二課では、マインド(心)とその構成部分について解説しました。

マインド(心)が外部の知覚対象に完全に支配されない様にマインド(心)を観察しなさい。そして、身体の構成部分とその目的に気づく際、あなたのマインド(心)が公平に関心を払う様にしなさい。更に、身体の各部分、及び他のあらゆるフォーム(創造物・万物)の驚異的な働きに気づきなさい。

第三課では、宇宙の法則の応用について述べました。

少なくともこの法則がある程度生活の中心となる迄、あなたは日常生活においてこの法則を応用しなさい。万物の中でこの法則が働いている事を観察しなさい。何故なら、この法則が万物を動かしているからです。

第四課では、想像し得る最大から最小の現象に至る迄、あらゆる創造物の関連性について述べました。

第五課では、あらゆる生命の英知とパワーは意識からもたらされる事を述べました。又、万物を通して如何に意識が表現されているかについて述べました。

第六課では、新鮮さについて述べました。

身体を若返らせる為には、先ずマインド(心)を若返らせる必要があります。進歩するあらゆる新しい物事にマインド(心)が興味を持つ時、身体は若返ります。

第七課では、宇宙的な記憶について、また過去の経験を活かす為の記憶の重要性について述べました。

第八課では、宇宙の一体性について、また知識の欠乏によって人間が他人、及び他のフォーム(創造物・万物)との分離感を起こすかについて述べました。

イエスは弟子に対し―あなたが他人を傷つけるならばそれが誰であれ私を傷つける事と同じだ―と語りました。全体性の中には不和・分離はありません。マインドの支配を万物の創造主である意識に代えるならば、孤独感や分離感も消え、創造主、即ち我々の宇宙的半身に対する親密感に置き換えられるでしょう。

第九課では、宇宙的な細胞と世俗的(習慣的)な細胞の活動について述べました。これは、ちょうど人間に役立つ様に自然界の資材を用いて物を作る事に似ています。マインドの習慣によって我々は世俗的(習慣的)な細胞を作ります。何故なら、マインド(心)は父(意識)の可能性を持つ息子の様なものだからです。マインド(心)が父(意識)を信頼しない場合、マインドは自分勝手に働きます。そして、この宇宙の法則の誤用によって、宇宙の創造主とマインド(心)の作り手の間に分離が生まれます。故に、父(意識)と子(マインド・心)は一体となつて働かなくてはならないのです。イエスは―私と父(意識)は一体である。私であるマインド(心)と意識は一体である。そうでなければ私は何事もなし得ない。しかし、私を通して父(意識)が全てをなし給う―と言いました。これは、私であるマインド(心)は意識なくしては何事もなし得ず、意識がマインド(心)を通してあらゆる物事を行なう事を意味しています。従つて、意識のないマインド(心)は死んでいるのです。

第十課では、宇宙を旅する事について述べました。イエスは―人の思いのある所には本人もいる―と語っています。これは人が意識によっていると気づいているならどこでも、本人もそこに居ることを述べているのです。

第十一課では、宇宙空間の探査、及び意識としての宇宙を説明しました。

そして、意識にマインド(心)を融合(一体化)させる事によって、宇宙空間のあらゆる領域を探査する方法についても述べました。繰り返し返しますと、人の思いのある所には本人も居るのですが、これを分析してみましよう。

ある人がビルの中に入り、そこにある特定のものに興味を惹かれると、他のものを見落とします。この覚醒している状態を説明する為に次の例をあげましよう。

二人の男性が居酒屋に入つて行きます。一人は観察力があり、大きな美しい絵がある事や魅力的な女性が一人で座っている事など、マインドに多くの事を記憶させます。くつろいだ後、二人は居酒屋を立ち去ります。そこで、観察力豊かな一人が、素晴らしい絵の事や魅力的な女性が一人で居た事などを話し始めます。ところが他の一人は、飲む事だけに關心があり何も見ませんでした。しかし、話を聞くと関心を持ち、自分も見たいので店に戻ろうと言ひ出しました。以上は、二人の人間が意識による旅をし

確信

たとしても、ある人は他の人よりも多くのものを見る場合がある事を示す例です。

第十二課は、言うまでもなく、本講座全ての要約です。

受講者全員が生命を理解する為に誠実に努力し、本講座を自分の一部とする事を望みます。しかし、これは、与えられた多くのポイントを繰り返し学ぶ為の単なる入口に過ぎず、あなたは宇宙の自己を更に拡大・成長させる事になるでしょう。あなたに必要なものは他に何一つありません。何故なら、あなたの成長に必要な道具（※自身身の肉体・半身）は全て備わっているからです。

世の中は進歩しますので、時おり新しい知識をスペース・ブラザーズから得る事が出来るでしょう。情報を得る必要があれば、リストにあなたの名前を加えるので知らせて下さい。（アダムスキーは1965年に他界）本講座によってあなたがどのような効果を得たか・又、講座に関する疑問を知らせて下さい。おそらく個人的に質問に答える事は出来ませんが、適切な時期に質疑応答のパンフレットを作成しましょう。

本講座を学ぶ事によって、あなた方のうちどれほどの人が研究グループを組織するに十分なほど成長したか、スペース・ブラザーズは知りたいと望んでいます。そしてこの方法によって自分を知り、同様に他人を助け、より良い社会にする事が出来るでしょう。

あなたが学んできた本講座は、個人の目的を達成する為のものとしてスペース・ブラザーズにより慎んで捧げられたものです。進歩の為の永遠の道が包まれた個人宛ての贈り物として、我々はこの講座を慎んで受けるべきです。

言うまでもなく、マインドは与えられるもの全ての分野を記憶する事は出来ず、マインドを進歩させる為には何度も繰返して読まなくてはなりません。一日に少なくともある講座のページを読み、そこに述べてある事を意識しながら生活する事は大変有益です。すると、初めに比べて多くの物事（知識）を吸収している事を知りあなたは驚くでしょう。

本講座は二十年後に読んでも現在と全く変わらぬ素晴らしい価値があるでしょう。本講座が伝える内容に終わりはないからです。

本講座はあなたの生活のバランスを得る為の道標となるでしょう。あなた方の多くが人生を充実させたいと望んでいる事は良く理解しています。そして、本講座の中で得た知識を応用する事によって充実した人生を得られると私は確信しています。緩慢（かんまん・ゆっくり）な進歩に失望しないで下さい。緩慢な進歩は堅実な成長です。しかし、多くの習慣を変化させなくてはならない為、はじめは簡単ではありません。良質なものや最も価値ある金鉱等は地表には存在しません。困難な仕事であっても我々は掘り出さなくてはならないのです。そして、あなたの本体である真珠を見つけるには、深く掘り下げなくてはなりません。それには勇氣と決意が必要ですが、忍耐強くこれを成し遂げた人は永遠の幸福を見つけます。

私は自分の意識から決してあなたを除きません。ブラザーズも同様です。進歩への旅の途上であなたを援助しましょう。創造主の思いと意識があなたの意識の中に現れますように。あなたが宇宙の英知と共に歩み語りますように。

見聞きせずに信じる事の出来る人は幸いです。見聞き出来ないものが宇宙なのです。即ち、不可視（目に見えないもの・耳に聞こえないもの）なものがパワー・英知で

初めは

あり、それによって我々は見聞き出来るのです。従って、あなたのマインド（心）を信じる様にあなたの意識（半身）を信じる事です。そうすれば、あなたは直ぐにこれまでずっと別れていたあなたの半身である宇宙的自己と共に歩き始める事になります。生命の真のエッセンスの満ちた盃が今あなたの前に置かれています。日々これを飲めばあなたは決して渴く事はありません。

宇宙の意識は噴水に例える事が出来ます。噴水の水は空へと勢いよく噴き出し、無数の小さな水滴となってあらゆる方向へ降り注ぎ、再び池の水と一体化します。この様に、知識は人間の内奥に包含され、人間が自己の本体と一体化する事によって開かれ、応用される為に存在しています。そして、その永遠性の中で、絶え間なく理解力を増しながら立つその時々頂点から、生命を眺める事が出来るのです。

人間は空を飛ぶ鳥の喜びを共に感じる事も、草花が成長し花開く複雑な繊細さを深く味わう事も出来ます。更に、宇宙の秩序整然たる様子を驚異の念を抱く事も出来ます。そして、観察するにつれて、人間も又その様に完全な計画の一部である事に、謙虚さと感謝の念を抱き始めます。

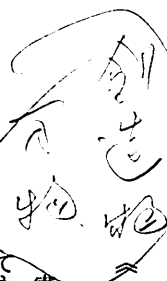
宇宙の意識を感じる様になると生命を理解する事になり、あらゆる結果を因なる意識の現れと見なします。忍耐と熱意を持って学びなさい。そうすれば、あなたは真の自分とあらゆる生命が一体である事が分かります。相互に関連する宇宙の絵画が織りなす美の現実は、一つ一つの体験と同じ様にあなたの生活の一部となり始めます。

《 要約 》

寄せられた様々な報告によると、本講座の受講者は意識を知覚する事を応用して実際に奇跡を起こしています。地球・他の惑星に関わりなく、意識とは、創造物を通して永久不変に表現されているという事を忘れてはいけません。何故なら、意識の中でアイデアは生まれ、それは無限であるからです。聖書には「神は今も昔も永遠に存在し、その創造物から自然の中に見られる様々なフォームが育まれる」と書かれています。こうしたアイデアは様々な目的の為に青写真、即ちパターンとして分類されます。しかし、ただ単にアイデアとして心に抱くだけでは何の価値もありません。何故なら、実行する事が現象を生み出す為には必要だからです。

ここで注目すべきは、神と呼ばれる創造主は意識の中のアイデアに気づいていた事です。しかし、アイデアを実現する為には宇宙に存在する構成分子を様々な組み合わせによりフォームとする為に応用する必要があるました。しかし、構成分子そのものはいかなるフォーム（創造物・万物）を造り出すべきかを理解するだけの知識を持ちません。それで固有の表現を形作る為に、構成分子を望ましいパターンに導く指令が、言葉、即ち周波数（バイブレーション）により与えられました。とはいえ、与えられた命令を受ける事が出来るほど十分な英知を少なくとも構成分子は持っていた事になります。

旧約聖書の創世記には「最初に創造されたものは虚空でありフォームは無であった。二度目の創造でフォームが現れはじめた」と書かれています。しかし、ここで注目すべきは、創造主はパワー・精霊に指令を与えた事です。つまり、構成分子の中に僅かに存在する英知に対して、遂行する様に命令が与えられたのです。そして、構成分子の中には指令を遂行する為に必要な英知が存在する必要があるました。



聖書には人間としてのフォーム（創造物）が如何に創造されたか、万物についてと同様に明確に書かれています。創造主の意識の中にはフォームの現象化に対する疑惑は皆無でした。現象化するという絶対的な確信があったからです。そして、命令は繰返されなかつた事に注目すべきです。命令は只一度与えられただけでした。これこそ我々が内奥で克服する必要のある確信であり、如何なるアイデアを望むにしろ、それが実現する事を知らねばなりません。言い換えれば、我々の持つアイデアがどの様なものであれ、自分に対し十分な信頼（信念・確信）を持つべきであり、アイデアを実現する為には僅かでも疑惑を挟んではならないのです。何を行なうにしてもこの様な信頼（信念・確信）を持つと、創造主を信頼する事になります。そして、創造主と共に行なうのであれば不可能な事は何一つありません。

それでは、本講座を復習します。

はじめに、意識の中でアイデアが生み出される事を考察しましょう。アイデアを生み出した意識の能力に対して十分な信念と信頼を持ち、現象化するものの意識的な青写真を持ちます。

次に、青写真中のアイデアを逃さない様にして現象をイメージし、結果に対する十分な信頼を持ちながら言葉による命令を与えます。意識とはアイデアを孵卵し創造するものであることに注目しなさい。霊・精霊とはパワーと英知です。そして、息子とは、意識に酷似し意識が既に持っていたイメージにおいて表現されたものであり、これら三者が三位一体を成します。この様に、万物において初めに意識があり次に宗教的に言われてきた霊、即ち精霊があります。そしてそこに現象としての息子が存在するのです。

宇宙の数学、即ち創造的な数学においては、 $1+1=2$ ではありません。3になります。何故なら二つの原理が正確にプラスされると、常にある現象が生まれ、これが数字の3に相当するからです。そして、この三者は再び一体化し一つの完全な現象となります。電球が光る為にはプラス・マイナス両方の原理によるパワーを必要とします。また男性・女性共に子孫を生み出す為に不可欠です。これが絶え間なく続くフォーム再生の為の永久不変の活動です。この法則によれば不可能な事は何もありません。マインド（心）と意識を等しく調和（融合・一体化）させて組み合わせると、人間は身体を完全な健康体に再建する事が出来ます。そして、この法則を理解しさえすれば必ず成功する事が出来ます。

15.5.